

高等部の概要

1 学部目標

- ・校内外でのさまざまな活動を通して、誰とでもコミュニケーションがとれる力を身につける。
- ・豊かな社会生活を実現するために必要な基本的生活習慣を身につける。
- ・社会とつながりながら、働くために必要な知識・技能・態度を身につける。

2 高等部の特色

1. 一人ひとりのキャリアデザインを支援します

高等部では、学校教育計画を踏まえ、生徒一人ひとりのキャリアデザインを支援していきます。

「キャリア」とは、「自分らしく生きること」であり、よりよい働き方、学び方、生き方を探し、実現することです。その「キャリア」をデザインすることは、「自分らしく生きることを設計する」ことであり、自分自身の特性を理解しながら、社会との接点をもって自分でつくりを行うことだと考えています。

そのために、知的部門、肢体部門ではそれぞれ次のような方針で教育課程を編成しています。知的・肢体両部門とも生徒一人ひとりのニーズに応じたきめ細やかな支援を行い、学部目標を実現していきたいと考え、実施するものです。

2. 共に学び合え、響き合える共同学習を行います

原則として障がい種別に教育課程を編成していますが、知的部門生徒と肢体部門生徒がともに学び合うことができる学習を積極的に展開します。両部門の生徒が同じ時間・空間を共有しながら学習することで、多様な障がいのある生徒たちがそれぞれの学習グループにおいてかかわり合いながら、学び合うことができる授業を目指していきたいと考えています。

3. 「共生社会」の実現を目指します

(1) 「地域に出かける」

学校周辺や生徒の居住地域周辺の公共施設、商店、公共交通機関等の地域資源を活用して、学校の中だけでなく積極的に地域に出かけていく中でライフステージに応じた社会参加の形を見いだし、コミュニケーションや施設活用等のスキルを磨いていきます。

(2) 「地域とつながる」

地域でのより快適な生活を実現していくために、様々な人と交流および共同学習を行い、生活上必要で、かつ身近なパートナーと社会的関係を結びます。

4 知的障害教育部門 学習の目標及び内容

日課	指導内容等
国・数	生活に必要な国語や数量や図形などについての理解を深め、それらを適切に活用する能力と態度を身につける。
美術	造形活動によって表現力、鑑賞力、想像力を豊かにする。
音楽	表現・鑑賞の能力を伸ばし、音楽活動への意欲を高めるとともに、生活を明るく楽しいものにする態度と習慣をつける。
体育	身体運動を通して、体力や技能の向上を図る。運動の仕方、規則を学習し、協力や安全の意識や生活に必要な健康についての意識を身につける。
体力作り	
家庭	家庭生活に関する知識や技能を身につけさせ、実生活の中でいかせるようにする。
情報・自立	生活に必要な情報を得るための基本的な情報機器操作の技能や活用を身につけると共に、情報モラルについて知り意識を高める。学習又は生活に必要な活動を通して、卒業後の生活を見越した自立する力を身につける。
生活単元	体験的な学習活動を通して、自立的な生活に必要な知識や技能を身につけ、生活上望ましい態度や習慣を養う。
作業	作業を通して卒業後の多様な社会参加の場に必要な働く意欲や態度を培い、人間関係の形成等日常生活にも活用できる力を身につける。
職業	卒業後の社会参加に必要な知識を学び、日常生活にいかすことができる力を身につける。
日常生活の指導	個々の実態に合わせて基本的生活習慣の確立を図る。様々な体験を通して自主性・協調性・責任感を身につける。

朝の会・帰りの会	司会や発表等を通して自主性・協調性・責任感を身につける。 日課の確認、メモを取ることを行い、1日のスケジュールの見通しを持つ。
清掃	教室等の清掃活動を通して主体性・協調性・責任感を身につける。
総合的な探究の時間 (ぎんがタイム)	横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身につけ、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の在り方生き方を考えることができるようとする。
LHR	ホームルーム活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてホームルームや学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる。
学校行事	学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活や社会生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。
生徒会活動	生徒会活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団や社会の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。

5 肢体不自由教育部門 学習の目標及び内容

◎自立活動を中心とする課程

日課の名称	指導内容等
音楽	表現及び鑑賞の能力を伸ばし、音楽活動への意欲を高めるとともに、生活を明るく楽しいものにする態度と習慣を育てる。
美術	造形活動によって、表現及び鑑賞の能力を高め、豊かな情操を養う。
体育	適切な運動の経験や健康・安全についての理解を通して、心身の調和的発達を図り、明るく豊かな生活を営む態度と習慣を育てる。
生活単元	場や相手の状況に応じて、主体的なコミュニケーションを展開できるようにする。
家庭	活動を通して、人や物にかかわる経験を重ねる。

課題学習	ものの機能や属性、空間・時間等の概念の形成を図ることによって、それを認知や行動の手がかりとして活用できるようにする。
自立活動 (課題別)	自分の得意なことや不得意なこと、自分の行動の特徴などを理解し、集団の中で状況に応じた行動ができるようになる。生命を維持し、日常生活を行うために必要な身体の健康状態の維持・改善を図る。

◎教科中心とした学習をする課程

日課	指導内容等
国・数・英	生活に必要な国語についての理解を深め、伝え合う力を高めるとともに、それらを適切に活用する能力と態度を育てる。 外国語でコミュニケーションを図る基礎的な能力や態度を育てるとともに、外国語や外国への関心を深める。 生活に必要な数量や図形などに関する理解を深め、それらを活用する能力と態度を育てる。
音楽	表現及び鑑賞の能力を伸ばし、音楽活動への意欲を高めるとともに、生活を明るく楽しいものにする態度と習慣を育てる。
美術	造形活動によって、表現及び鑑賞の能力を高め、豊かな情操を養う。
体育	適切な運動の経験や健康・安全についての理解を通して、心身の調和的発達を図り、明るく豊かな生活を営む態度と習慣を育てる。
情報	コンピューター等の情報機器の操作の習得を図り、生活に必要な情報を適切に活用する基礎的な能力や態度を育てる。
理科・社会	社会の様子、働きや移り変わりについての関心と理解を一層深め、社会生活に必要な能力と態度を育てる。 自然の仕組みや働きなどについての理解を深め、科学的な見方や考え方を養うとともに、自然を大切にする態度を育てる。
家庭	明るく豊かな家庭生活を営む上に必要な能力を高め、実践的な態度を育てる。 勤労の意義について理解するとともに、職業生活に必要な能力を高め、実践的な態度を育てる。

◎高等学校の教科書を使用して学習する課程

高等学校学習指導要領の各教科の内容に準じた学習をします

◎ 3 課程共通

日課	指導内容等
朝の会・帰りの会	1日の活動の見通しを持てるようにする。1日を振り返り、頑張ったことを確認しあう。翌日の予定や下校方法を知る。
給食準備/片づけ	食事の基本動作を身につけることができるようする。
給食	共感関係（互いの気持ちや思いが通じ合う関係）を基盤にし、「コミュニケーション」（生徒との楽しいやりとり）、「食べる動き」（舌・顎・口唇の動き、食具の使い方）、「おいしい給食」（味わって食べる）という三つの要素を展開する。
LHR	ホームルーム活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてホームルームや学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる。 調べ学習を通して、宿泊学習や校外学習について見通しを持てるようする。
学校行事	学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活や社会生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。
総合的な探究の時間 (ぎんがタイム)	横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身につけ、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の在り方生き方を考えることができるようする。
生徒会活動	生徒会活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団や社会の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。
作業	作業を通して卒業後の多様な社会参加の場に必要な働く意欲や態度を培い、人間関係の形成等日常生活にも活用できる力を身につける。